

3

健やかな体の育成

(1) 健康づくりの推進

① 健康で安全な生活習慣の育成

児童生徒が、健やかな学校生活を送るとともに、生涯にわたって健康的な生活習慣を身につけることができるように、家庭や地域及び関係機関等と連携しながら健康で規則正しい生活習慣の育成を図る。

■ 性に関する指導

性に関する正しい判断と行動ができる児童生徒の育成とともに指導者の養成及び指導力の向上を目指している。平成24～25年の2ヵ年で平成16年3月に発刊した熊本市の性教育《指導案集》の見直しを行い、平成26年3月には熊本市の性に関する指導《指導案集》を発刊した。

○ 平成26年度実績

- ・性に関する指導第一次研修会（実践発表、講演）：参加者182人
- ・性に関する指導第二次研修会（小中学校授業研究会）：参加者252人

■ 喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育

喫煙、飲酒、薬物乱用の危険性や有害性を認識させる教育を推進し、指導者の養成及び指導力の向上を目指す。平成18年度に熊本市の薬物乱用防止教育《指導資料集》を配布した。

○ 平成26年度実績

- ・各小中高等学校における喫煙・飲酒・薬物乱用防止教室の開催：実施校135校（分校を含む）
- ・指導者研修会の開催：参加者171人

■ 健康診断

現在の子どもたちを取り巻く生活環境の変化に伴う運動量の減少や不規則な食生活、肥満傾向児童生徒の増加など多くの課題を抱える中、健康管理と自己管理能力を育てるために健康診断を行っている。

■ 望ましい生活習慣の育成

○ 小児生活習慣病予防検診

小児期の肥満は成人の肥満に移行する確率が高いといわれている。また、その成人の肥満が生活習慣病の大きな危険因子であることから、小児期の肥満に早期に対応し、意識の高揚を図るため、小学4年生の肥満度20%以上の児童に対して、検診と保護者への指導を実施している。

	小4児童数 (A)	肥満度 20%以上の 児童数 (B)	肥満度 20%以上の 児童割合 (B/A)	受診児童数 (C)	受診した児童の 割合 (C/B)
平成22年度	7,236人	662人	9.15%	266人	40.2%
平成23年度	6,951人	572人	8.23%	301人	52.6%
平成24年度	6,924人	650人	9.39%	328人	50.5%
平成25年度	6,763人	589人	8.71%	314人	53.3%
平成26年度	6,773人	602人	8.89%	321人	53.3%

○ 生活習慣改善パンフレットによる指導と啓発

次年度小学校入学予定者に対し、就学時健康診断時において、生活習慣改善啓発パンフレットを配付し、基本的な生活習慣について啓発している。また、児童生徒へは、生活習慣改善啓発パンフレットを活用した指導を推進している。

○ 健康手帳の活用

肥満傾向にある子どもに対し、健康手帳を活用することによって、家庭と連携した指導を行い、小児生活習慣病の減少を目指している。

② 体力向上の推進

生涯を通じて運動に親しみ、健康で安全な活力ある生活を送るために、適切な運動・調和の取れた食事・十分な休養睡眠の「健康3原則」の観点から、幅広い体力向上の推進に努めている。

■ いきいき健康づくりプログラムの活用

子どもたちの体力向上を図るプログラムを策定し、その内容を各学校に紹介し、各々の学校が主体的に体力向上の実践に取り組んでいく。

○ プログラムの内容

＜教科体育及び教科外体育等での取組＞

- ・教科体育
- ・教科外体育
- ・教具等の工夫

＜健康な生活に関する取組＞

- ・健康な生活習慣に関する指導例
- ・調和のとれた食事

＜家庭との連携・啓発に関する取組＞



河内中の体幹トレーニングの様子

■ 体力向上推進校の指定

児童生徒の体力向上を目的とする「子どもの健康づくり・体力向上推進事業」の一環として、体力向上実践校を指定し、用具等を整備しながら体力向上に取り組んできた。また、平成22年度から体力向上実践校の中で特色ある取り組みを実践した小中学校1校ずつをモデル校として指定し、実践的な取り組みの普及を目的に研修会を実施した。

さらに平成26年度から子どもの体づくり推進委員会と連携協力した体力向上のための実践検証作業及び運動環境の充実を図る。

○ 平成26年度体力向上推進実証校（小学校3校、中学校2校）

託麻南小学校、隈庄小学校、小島小学校
江原中学校、錦ヶ丘中学校

■ 総合運動部の設置推進

種々の運動を経験できる総合運動部の設置を推進する。

平成27年度設置小学校数 26校

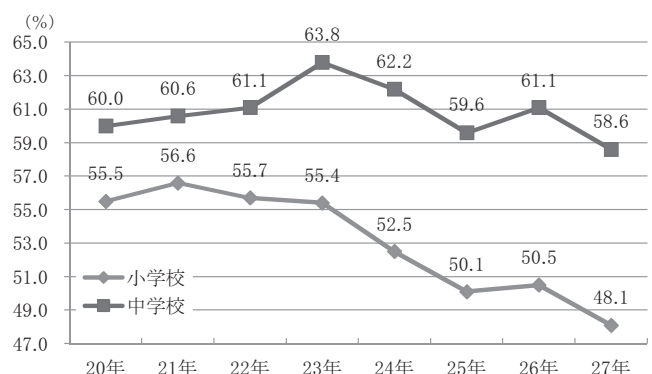
■ 運動部活動の適正な推進

運動部活動は、学校教育活動の一環として、体力の向上や健康の増進を図ることなどを目的として設置されている。

○ 平成27年度運動部活動設置数

- ・小学校 377部
- ・中学校 452部

＜運動部活動加入率の推移（平成20年度～27年度）＞



■ 熊本市わくわくチャレンジ長なわとびフェスタの実施

平成24年度から新たに体力向上を目的として小学校を対象に「熊本市わくわくチャレンジ長なわとびフェスタ」を冬場の11月から翌年2月にかけて実施した。参加申請のあったクラス単位で「8の字跳び」を競い合い、学校賞及び各部門ランキング賞を表彰した。



休み時間に練習する様子

○ 参加学校数及び参加学級数

市内全学校数	参加学校数	参加率	うち全学級参加校数
95校（白浜分校を含む）	95校	100%	85校

○ 通常学級

チャレンジの部	市内全学級数	参加学級数	参加率
ランキングチャレンジ	1,362	539	約94%
目標達成チャレンジ		734	

○ 特別支援学級 32学級参加

（２） 食育の推進

健やかな心身の育成及び生涯を通じて望ましい食生活を実践する態度を養うために、安全でおいしく楽しい給食と食に関する豊かな情報を提供するとともに、家庭や地域社会及び関係機関等との連携・協力を図り、食育を推進する。

■ 学校給食の概要

○ 経緯

昭和22年に全小学校（26校）でミルク給食が始まり、昭和26年に小学校6校で、昭和48年には中学校でも完全給食を開始した。現在、全ての小学校（94校）・中学校（42校）と一つの幼稚園（隈庄幼稚園）で給食を実施している。

○ 米飯給食

昭和55年から導入し、平成5年から週3回実施。（内麦飯2回）

○ 献立

献立作成委員会において標準献立を作成し、幼稚園、小学校及び共同調理場（中学校）毎に標準献立を実施。

市産品を使用した「食育の日～ひごまるデー～」の献立や「味の旅」「児童生徒が考えた献立」の他、セレクト給食等、栄養バランスが取れた魅力あるおいしい献立を実施。

○ 物資の購入

おかずに関する物資・・・（公財）熊本市学校給食会による共同購入
パン、ご飯、牛乳等の基本物資・・・（公財）熊本県学校給食会から購入

○ 調理方式

・幼稚園	単独調理場方式	1園
・小学校	単独調理場方式	85校
	親子方式調理場	5校
	共同調理場方式	4校
・中学校	単独調理場方式	2校
	親子方式調理場	2校
	共同調理場方式	38校

○ 研修

給食技師研修会、給食技師調理研修会、学校給食関係者研修会、栄養教諭・学校栄養職員研修会、食育担当者等研修会、給食受入業務補助員研修会、新規採用・転任者給食関係職員研修会

■ 食に関する指導

望ましい食習慣や健康管理能力の育成を図るため、各校において食に関する指導に係る全体計画等を作成し、栄養教諭・学校栄養職員による専門性を活かした授業の実施や、学校給食の教材としての活用等、学校教育活動全体を通じて食に関する指導の推進を図っている。

■ 市産品の活用

平成12年度から関係課及び関係団体と連携して地域農産物の学校給食への導入を開始している。熊本市の農産物を紹介し、それを活用した給食を実施することで、地元の農業と農作物に対する児童生徒の理解を図っている。

○ 平成26年度導入品目数（40品目）

れんこん、すいか、みかん、米、ピーマン、せり、ほうれんそう、青ねぎ、大豆（納豆、味噌、豆腐）、キャベツ、ナス、なし、たまねぎ、レイシ、チンゲン菜、小松菜、たけのこ、水菜、いちご、甘藷、ミニトマト、きゅうり、はるか、トマト、にら、晩柑、ブロッコリー、ネーブル、レモン、にんにく、もやし、パセリ、青しそ、スティックセニョール、不知火（でこぼん）、春日ぼうぶら、じゃがいも、京菜、きくらげ、スイートスプリング

■ 学校給食における衛生管理

学校給食衛生管理基準を遵守し適切な衛生管理を行い、食中毒の防止に努めている。調理従事者には、年1回の健康診断を行い、毎月2回の検便を実施するなど、調理従事者の健康状態の把握に努めている。また、長期休業期間中には、調理場内の清掃や害虫駆除を実施している。

学校給食事業安全衛生委員会では、衛生管理や作業中の事故防止等の点検と改善に努める他、保健所と緻密に連携をとり、衛生管理の徹底を図っている。

その他、計画的な施設面の改善充実によるドライシステムの導入など、衛生管理を強化している。

○ ドライシステム導入の調理場（15共同調理場、33給食室）

託麻共同調理場、出水南共同調理場、藤園共同調理場、井芹共同調理場、東共同調理場、長嶺共同調理場、武蔵共同調理場、富合共同調理場、龍田共同調理場、城西共同調理場、植木共同調理場、西原共同調理場、城南共同調理場、日吉共同調理場、京陵共同調理場

桜木東小、北部東小、出水小、龍田小、託麻西小、山ノ内小、城西小、川尻小、健軍東小、春竹小、力合小、古町小、碩台小、砂取小、黒髪小、泉ヶ丘小、清水小、帯山西小、隈庄小、下益城城南中、春日小、御幸小、川上小、西里小、銭塘小、奥古閑小、田迎西小、池田小、秋津小、飽田西小、力合西小、長嶺小、託麻南小

※ ドライシステム：乾いた状態で床で作業が行え、床からの跳ね水による二次汚染の防止や湿度が高くないように室内環境に配慮した施設

■ ふれあい給食

児童・生徒と地域の人々との会食を通して、学校給食についての理解と関心を深めるとともに、相互の心の交流を図ることにより、児童・生徒の心身の健全な育成を図ることを目的に「ふれあい給食」を実施している。参加者は、校区老人会、民生委員・児童委員、自治会、児童・生徒の祖父母などである。

○ 平成26年度実施校 134校



■ 熊本市わくわく楽しい給食作品展

給食への思いを表した作文や図画・ポスター、毛筆書写及び児童・生徒が考えた給食献立の作品を募集し、優秀な作品を展示している。給食献立の最優秀作品及び優秀作品については、給食記念日（1月24日）を含む1週間において全小・中学校で献立として実施し、給食への理解・関心を深め大変好評である。

○ 平成26年度 応募総数 3,797点

○ 最優秀作品の実施献立

・献立の部（小学校）



ひご野菜カレー、熊本いんげんのごまあえ、みんな大好きジュシーゼリー、牛乳

・献立の部（中学校）



ひじきごはん、牛乳、ベジ酢鶏、白菜の豆乳スープ、フルーツゼリー

■ 共同調理場の民間委託（調理、配送及び洗浄業務）

平成17年4月から2年間、藤園及び日吉共同調理場において調理業務等の民間委託をモデル的に実施し、平成18年8月に、評価委員会から「総合的に評価した結果、問題ない」という最終報告書が提出された。評価委員会の答申を受け、平成19年度から藤園及び日吉共同調理場については、民間委託の本格実施に取り組んだ。

その後、平成20年度に3施設（出水南、井芹及び長嶺共同調理場）、平成21年度に4施設（東、託麻、武蔵及び龍田共同調理場）、平成22年度に4施設（城西、西原、京陵及び城南共同調理場）が民間委託に移行し、平成11年度から民間委託に移行している富合共同調理場を含めると現在14施設（東、藤園、日吉、託麻、武蔵、出水南、井芹、長嶺、龍田、富合、城西、西原、京陵及び城南共同調理場）が民間委託に移行している。

■ 小学校給食室の民間委託（調理及び洗浄業務）

平成27年度から市内9校（出水南、白坪、御幸、託麻南、帯山、託麻東、長嶺、清水、高平台）の小学校給食室が民間委託に移行している。

なお、民間委託による給食調理業務等については、教育委員会内に設置する「熊本市学校給食調理等業務委託評価委員会」において衛生管理・品質面・給食運営面・学校との連携等をチェックし評価を行い適切な運営に努める。